

事業所名

cocoSKIP(ココスキップ)

支援プログラム

作成日

令和6年

10月

20日

法人（事業所）理念		こどもたちの未来に貢献する、未来への懸け橋になる ～すべての子に当たり前の笑顔を。そして生まれて来て良かったと思えるように～			
支援方針		目指すところは我々スタッフが一緒に楽しみ、明るく笑顔が絶えない空間を提供します。「ここが好き!」「スキップするくらい楽しいところ!」そんな言葉が子ども達からも保護者からも、スタッフからもたくさん聞けるような施設を目指し、利用者さんも保護者さんも職員もみんな楽しいから人がたくさん集まる施設を目指します。お子さんの自主性を重んじ運動プログラムの中からやりたい事を自由に選んで実践します。保護者様からの希望や要望もしっかり聴き取り「やるべき事」「やりたい事」「出来る事」の3つが重なった点を楽しく追及していきます。			
営業時間		平日 13時00分から 19時00分まで 土日祝日 10時00分から 18時00分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	運動プログラムの中で様々な遊びに快活に取り組み体力と筋力の向上を目指し、日常生活で余裕を持って生活できる力を身につける。手足の巧緻性や姿勢保持のための筋力向上などを目標に30種類以上の遊具を使用した運動遊びを専門的な観点から提案し本人が出来る1つ上の課題と一緒に取り組むことで生活面でも自信を持って出来るようになるように支援しています。また支援員と一緒に遊具の準備をしたり片付けにも取り組む事で整理整頓や活動の見通しをもって過ごせるように支援します。			
	運動・感覚	学校体育種目(跳び箱・縄跳び・鉄棒・マット運動)だけでなく平衡感覚、身体位置感覚など自分の体をどのように操作することで目標達成が出来るのかを一緒に考え挑戦します。また療育中は裸足での活動を推奨しており足底の感覚と足の指の使い方などを遊びながら統合していくことを目標にしています。			
	認知・行動	支援員からの声掛けやアドバイスを聞いて自分の体の動きを調整したり、支援員の見本を見て真似をする、相手に合わせて緩急をつけるなど対人を個別でのかかわりで意識してもらうことで他者との距離感や適切なかかわりを経験できるように支援しています。			
	言語 コミュニケーション	遊具の写真を使った活動の見通しを本人と相談し決定したり、活動の課題の提案やステップアップを支援員と言葉でやり取りし交渉を重ねることで自主性と自制心が向上するよう支援しています。また発語が困難か利用者さんに対しては支援員が本人の気持ちや思いを代弁し発語に繋がれるように支援しています。			
	人間関係 社会性	個別での活動に慣れ、本人の成長と共に友達との小集団療育や5人程度の中集団での療育も行っています。そのなかで他者と適切な距離感で受け答えが出来ているかを確認したり、集団の中での全体指示の理解や集団行動について経験できるように支援しています。			
家族支援		通所時には保護者様には療育部屋と一緒に頂いて頂き支援を直接見てもらうようにしています。またその際に担当職員以外の支援員が活動の内容を説明したり日常の困り事などの聞き取りを毎回行っています。また、活動終了後には担当職員との振り返りの時間も設けています。	移行支援	自治体の保健師、相談支援員、保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校等と必要に応じて関係者会議や参観懇談の実施を行っています。	
地域支援・地域連携		自立支援協議会参加・事業所連絡会参加・京都府人材育成研修講師派遣・向日市子育て応援団協力事業所	職員の質の向上	理学療法士・作業療法士派遣依頼 強度行動障害基礎研修:実践研修受講推薦 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修推薦 虐待防止研修参加 その他職員の希望に合わせて研修に参加してもらっています	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会</li> <li>・ヨガインストラクター講師によるキッズヨガ開催</li> <li>・体育教員による学校体育種目練習会</li> </ul>			